

特定非営利活動法人

国際社会人剣道九州クラブ会報



INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

2020年65号（令和2年1月）

剣志

KEN SHI

発行者 九州地区クラブ

会長 加野 資典

幹事長 佐藤 博喜

ホームページアドレス <http://www.npo-igkc.or.jp>

eメール nakamichi3303@outlook.jp

初日さす 硯の海に 波もなし

正岡 子規

門松に 青きゆふぐれ 来たりけり

柏木 冬魚



新年を迎え会員の皆様は今年のご目標等決意を新たにされてある事と思います。

九州地区クラブの今年初の1月例会は令和2年1月18日に恒例の「湯の坂道場」にて開催しました。尾方正照先生、野口慎一郎先生、小島良守先生、池田純洋先生、山田雅士先生、井手勝彦先生、井上誠一先生の7名の8段の先生のご出席を頂き、総勢39名にて稽古会を開催しました。

稽古会の前に加野会長から新年のご挨拶をして頂きました。最初の30分は会員同士の「相互稽古」、後の1時間は八段の先生方により「指導稽古」をして頂きました。



稽古会

日 時 : 令和2年1月18日(土) Pm3:00~Pm4:30

場 所 : 久留米温泉道場 (湯の坂道場)

【稽古会出席者: 39名】 (順不同、敬称略)

尾方 正照先生 野口 慎一郎先生 小島 良守先生 池田 純洋先生

山田 雅士先生 井手 勝彦先生 井上 誠一先生 (当地区8段の先生7名)

加野 資典 (会長)

田中 義勝 佐藤 博喜 秋山 勝年 小川 邦昭 古庄 輝雄 小川 金吾

瀬戸 靖博 武田 耕次 溝口 勝正 大隈 光夫 西田 耕陽 日高 久光

渡邊 寛二 西見 秀俊 大和 竹史 石丸 隆久 大塚 勝也 緒方 栄一

澤木 孝明 澤木 直子 下林千代鬼 園田 智弘 平 嘉和 田中 昭彦

田中 正 塚本 林功 槁本 正照 廣松 守正 豊田 末雄 池永祐一郎

中道 政生 以上39名



会長挨拶と八段の先生方

【相互稽古の様子】



【指導稽古の様子】 今回ご指導頂いた八段の先生方



尾方先生



野口先生



小島先生



池田先生



山田先生



井手先生



井上先生



指導稽古後、尾方範士と野口範士に講話を頂きました。両範士共に「今年は自分の目標を決め、焦らず、諦めず、コツコツと努力を積み重ねる事で大成するもので各人己の目標を達成出来ることを祈ります。」と激励されました。

新年会

日時：令和2年1月18日(土) Pm6:00~8:00

場所：「鳥喜」



稽古会後に新年会を「鳥喜」にて開催し、17名の参加がありました。酒が進むにつれて八段の先生方を交えて剣道談話に話が尽きませんでした。

令和2年2月例会のご案内

稽古会

日時：令和2年2月15日(土) Pm3:00~Pm4:30

場所：久留米温泉道場(湯の坂道場)

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

※今期最後の稽古会です。多数のご参加をお願いします。



令和2年3月役員会・総会・例会のご案内

① 役員会

日時：令和2年3月28日(土) 12:00~13:30

場所：久留米温泉会議室

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

※昼食は準備致します。

② 総会

日時：令和2年3月28日(土) 13:30~14:30

場所：久留米温泉道場内(湯の坂道場)

③ 稽古会

日時：令和2年3月28日(土) 15:00~16:30

場所：久留米温泉道場(湯の坂道場)

久留米市野中町湯の坂 1235 番地 ☎0942(33)4126

※諸事情にて3月の例会の日程が変更になっています。お間違え無きようにお願いします。

※総会の出欠ハガキを2月の会報に同封致します。必ず出欠ハガキの返信をお願い致します。

《連絡事項》

- ① 来年度は本会報「剣志」を更により充実したものにしたいと考えています。会員の皆様からの投稿や掲載項目等ご意見が有りましたら遠慮なくご連絡下さい。宜しくお願いします。
- ② 当地区は他地区に比してメール会員の数が少ないようです。経費削減のためにもメール会員を増やしていきます。若い人でパソコンを使っている人、メールをしている方は是非メールアドレスを登録をお願いします。
- ③ 昨年11月の全国例会（九州地区主催）の集合写真を貰っていない会員の方は事務局（中道）までご連絡下さい。送付致します。
- ④ 2月の会報で再度連絡しますが3月は総会を開催予定です。欠席をされる会員の方は委任状を必ず返信下さい。

昨年10月に野口慎一郎先生が「クロアチア・オーストリア交流会」に参加されました。

野口先生にご多忙の中、ご無理を申し上げて遠征記をお願い致しております。

野口先生より頂いた原稿をそのまま掲載させて頂いております。

2019秋の剣道交流会



野口慎一郎

今年も国際社会人剣道クラブの活動で、クロアチアとオーストリアへ行ってきました。この活動は、主にヨーロッパの、人数は少ないが剣道に対しての情熱を持った人達の元へ此方から出かけて行き、剣道を伝え、また、一緒に稽古をして、剣道を楽しみ、広めていこうと行っているものです。毎年、6月にバルト3国中心、10月にオーストリアとその近辺の各国に行っています。参加者は日本各地から希望して参加しています。今年は、北は宮城から南は人吉まで、剣道愛好者とその奥様が参加されました。

10月11日朝に、福岡・関空・中部・成田から18名が仁川に集合し、揃ってウィーンへ出発しました。12時間ほどで到着後まず入国審査、そしてすぐに乗り換えです。空港では、先発してアルメニアで指導されてこられた前野先生と曾根理事長に出迎えていただき、前野先生の先導で手続きです。クロアチア行きは小さい飛行機になるので手荷物の積み込みが大変でした。約1時間後首都ザグレブに着いたらまた乗り換えで検査です。時間が20分ほどしかなくバタバタで、検査を終えて搭乗口へ行ったら、なんと同じ飛行機でした！それなら降ろさなくても、と思いましたが、検査の為仕方ないようです。40分ほどで最終目的地、アドリア海沿岸のザダルに着いたのが現地時間22時、クロアチアで働きながら剣道もされている永吉真記さんの出迎えをうけ、ホテルに着いてルームサービスでの夕食が23時、今回の移動はいつになく大変でした。それでも宿泊は、現地の剣道愛好者の一人が勤務するホテルだそうで、いろいろと便宜を図ってくれ、また、リゾートホテルとして高級で、温水プールやスパ、ビーチもあり、食事もお酒も大変美味しいもので、皆大満足でし

た。

12日は12時から面打の稽古と指導稽古、昼食休憩後18時から基本打と出端技の指導を行いました。参加者は初心者を含めて20名程ですが皆さんとても熱心です。

13日は10時から切り返しと応じ技を指導し、そのあと指導稽古、その間奥様方は現地の人と昼食作り、稽古後皆で美味しくいただきました。その後世界遺産の海岸を観光です。世界一の夕日と謳うだけありとてもきれいな海岸です。岸壁にいくつも穴があり、波が打ち寄せると様々な音を奏でる「海のオルガン」が印象的でした。

14日は同じく世界遺産の街シベニク、スプリト観光、古い教会と宮殿跡がとても素敵でした。

15日はザダル旧市街を観光後ウィーンへ移動、2度乗り換え後に20時過ぎチェックイン。

16日はドナウ川クルーズ、降りた港にある修道院のワインが絶品でした。

17日はそれぞれでウィーン観光、私たち一行6人はドナウタワーと、映画「第3の男」で有名な大観覧車に乗りました。ドナウタワーはウィーンが一望に見渡せるのですが、私たちが展望カフェに入った時には一面の霧で、客は私たちだけ、それでも次第に晴れてきて何とか展望を楽しめました。大観覧車ではすっかり晴れて、感動の景色を楽しみました。

15時半にホテルに帰り休憩後、18時半からウィーンの剣士たちと交歓稽古を行いました。ヨーロッパ剣道連盟会長のハウクさん、ウィーン剣道連盟会長のロスさんも参加され、稽古後は一緒にいつものレストランに招待していただき、ビールとウィーン料理を楽しみました。

18日にはバスでグラーツに移動し、いよいよ合宿の指導です。到着後、指導内容の検討と、50名程の参加者のグループ分けを行い、初級を井上先生担当、中級を曾根先生担当、茨城出身の磯山五段に通訳をお願いし、上級を私が担当、福岡出身の村上六段に通訳をお願いしました。その後指導稽古1回目実施。

19日には6時半から指導稽古、朝食後9時半から足捌き重点の基本稽古と指導稽古を12時まで。午後は3時から日本剣道形を、今年は時間をかけてじっくりと指導しました。

20日6時半から指導稽古、9時半から切り返しと応じ技、指導稽古、3時から東京高師五行の形、指導稽古で今年のグラーツ合宿を終わりました。参加者はオーストリア各地及び周辺諸国から、やはり自分のために何かを我々から吸収しようと考えて来ていて、とても熱心です。また来年の再会を願いながら解散しました。最後までお世話をしてくれたオーストリア剣道連盟会長のクラウスさんに心から感謝したいと思います。

21日は村上君の案内で、歴史と伝統のある古い醸造所を見学し、美味しい酢とスピリッツを賞味後バスでウィーン空港へ移動、仁川行きのに搭乗しました。10時間ほどで仁川着、そこで解散し、それぞれ帰国の途に就きました。平さん夫婦と私どもは福岡に15時半ごろ着き帰国手続き、JRで帰られる平さん夫婦と空港でお別れして、バスで熊本に着いたのは18時半でした。

いつも思うことですが、ヨーロッパで出会う人たちの、剣道に対する姿勢に感心させられます。例えば体育館への出入りでも、きちんと靴を揃え、礼をします。他の競技の人たちと全く違います。垂・胴の着装も必ずきちんと座って行います。剣道用品の扱いもぞんざいではありません。稽古も一本一本、一生懸命です。感謝の念を感じます。今日本で失われかけている基本的なことを大事に守っているように感じます。我々も、心していかなければならないことではないでしょうか。

【指導の様子】



クイーン・エリザベス二世号



「第三の男」に出てくるプラーターの大観覧車

